



夜の外観。スイスシャレー様式の山小屋風建築だ。国の登録有形文化財に登録されている建築美には、目を見張るものがある。

## 創業昭和10年。当時の面影が色濃く残る 長崎・雲仙「雲仙観光ホテル」

1935年10月10日、日本における国策ホテルとして、長崎・雲仙の地に開業した雲仙観光ホテル。当時は珍しいスイスシャレー様式の山小屋風建築が特徴で、数多くの宿が連なる同地でも異彩を放つ老舗ホテルだ。

外観、内装の随所には、歴史を感じる要素が今も残っている。例えば、バーにあるランプや窓ガラスは、創業当時から使われているものであり、床に敷き詰められた手焼きタイルも、時を重ねるにつれて深みを増してきたものばかり。

館内に足を踏み入ると目に飛び込んでくる大階段も圧巻だ。丁寧に守り抜かれてきた美しい柱や梁、手すり、クラシックな絨毯や窓、カーテンが作り上げる空間は、芸術そのもの。全39部屋の客室にはウィリアム・モリスの壁紙が採用されており、昭和モダンな雰囲気漂う。今秋には、スイスのワイナリー「ドメヌ・デュ・ダレー」のオーナーを招いての特別なイベントなども開催されるというから、この機会に一度足を運んでみてはいかがだろうか。

### 雲仙観光ホテル

住所：長崎県雲仙市小浜町雲仙320番地  
TEL: 0957-73-3263 [www.unzenkankohotel.com/](http://www.unzenkankohotel.com/)



上：歴史を感じさせるバー。下左：大人気の「ゴルゴンゾーラバイクドチーズケーキ」。ワインとの相性も抜群。下右：アール・デコ調の温泉。露天風呂や貸切風呂も。1室2名利用(1泊2食付き) 1名¥37,800～(税サ込・入湯税別)